

米国 カリフォルニア州産生食用ブドウはハリケーンのためにアジアで苦戦

FreshFruitProтал 2023年10月3日

通常は出荷がピークに達する8月にハリケーンヒラリーがカリフォルニア州を襲ったため、同州の生食用ブドウ生産者にとっては難しいシーズンとなった。

米国農務省の全国販売レポートによると、9月29日の時点でブドウの販促活動を行っている店舗は昨年より55%少なく、同じ週に種なしブドウの販促を実施している店舗は前年比で56%少なかった。

さらに、種なしブドウの1ポンドあたりの価格は前年比で39%上昇した。

国際的な輸入業者らは2,500万箱減ったと感じており、特に数量の減少と港に到着した時点での果実の品質を保証することの難しさを経験している一部のアジアのクライアントにはそう感じられた。ただし、例外もある。

アジア市場からの様々な反応

カリフォルニア州生食用ブドウ委員会の市場情報レポートによると、香港の卸売市場では中秋節(9月末)のためにカリフォルニア州産ブドウの供給量が大幅に増加した。3色すべてのブドウが入手できる。同レポートは、緑色のブドウは品質が良くサイズが大きいとしている。

一方日本では、果実は海上及び航空輸送で市場に入荷しているものの、輸入業者らはハリケーンヒラリーがカリフォルニア州のブドウの供給に影響を与えることを懸念している。2つの輸入業者は、多くのサプライヤーが海上輸送貨物を提供していないと指摘した。

輸入業者らは、入荷量が昨年の同時期よりも25%から50%少ないと報告している。これに影響しているのが、カリフォルニア州産の食用ブドウの高価格と、市場に入荷する果実の品質に関する懸念である。

輸入業者数社は、供給が安定して価格が下がらない限り、販促の機会は限られるだろうと指摘している。

日本円の対ドル安も、カリフォルニア州産生食用ブドウなど輸入果実の価格上昇を後押ししている。

同様に、韓国では、貨物の到着は続いているものの、輸入業者らは品質と価格がハリケーンヒラリーによって影響を受けたと報告している。このハリケーンによる供給量の減少により、果皮の破損、腐敗、裂果、小果柄の損傷などの品質問題が報告されているにもかかわらず、FOB価格は1箱当たり少なくとも10ドル上昇したと報告されている。

輸入業者らは、この種の欠陥に対する許容度が非常に低く、海上輸送の機会を制限し、困難な価格をさらに悪化させている。これらの要因はシーズンに水を差しており、入荷量は前年より約40~45%減少したと報告されている。

シンガポールに到着する生食用ブドウも品質が悪く、リスクを軽減し、できるだけ早くブドウを入手するため、多くの輸入業者は航空輸送に絞るようになった。輸入業者は在庫不足は予想していないが、価格の上昇を予想している。

ベトナムでは、輸入業者らはハリケーンヒラリー以来、カリフォルニア州のブドウを海上輸送で輸入することが困難であると報告している。多くの出荷業者は、海上コンテナで発送した場合は品質を保証できないと述べた。

傾向としては、カリフォルニア州の気象現象がブドウの供給業者に影響を与えたため、輸入業者は航空貨物に頼っているようである。

台湾とマレーシアのほとんどの輸入業者は、主に空路で受け取ったブドウの品質について、満足していると言う。